



北海道大学

oViceを用いたバーチャルイベントの運営

2023年4月25日

北海道大学大学院教育推進機構
オープンエデュケーションセンター助教

藤岡 千也

目次

oViceを用いたバーチャルイベントの運営

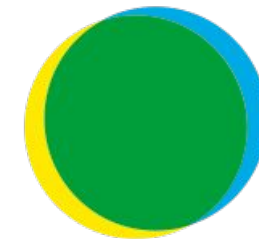
- ・ フォーラム「デジタル・シームレス学習大全」
 - oViceでの開催に至った背景
 - oViceの基本機能とフォーラムへの適用
 - 参加者への案内、動線の計画
 - 操作現場の準備
 - 配信コンテンツの準備
 - 開催までの過程
- ・ 小規模イベント

oViceでの開催に至った背景

oViceでの開催に至った背景

北海道大学オープンエデュケーションセンター(OEC)

- ・ 学内のICTとオープン教材を活用した教育・学習の支援
- ・ 所属している教員と職員が、専門の知識とスキルを活かして教材開発
- ・ コロナ禍以降は、サイバー、フィジカル空間の境目を感じさせないトータルな学習環境として「デジタル・シームレス学習環境」を実現することを目指している。



北海道大学
オープンエデュケーション
センター

CENTER FOR OPEN EDUCATION
HOKKAIDO UNIVERSITY



北海道大学

oViceでの開催に至った背景

北海道大学オープンエデュケーションセンター フォーラム

OECでは、北海道大学教員・非常勤講師・職員、学外教育関係者を対象に、毎年フォーラムをおこなってきた。コロナ禍においては、ウェブ会議システムであるZoomを使用しオンラインで開催してきた。2022年度（2023年3月開催）のフォーラムでは、バーチャルオフィス・オンラインイベントツールであるoViceを使用したバーチャル空間で開催した。



2018年度



2020年度



2021年度



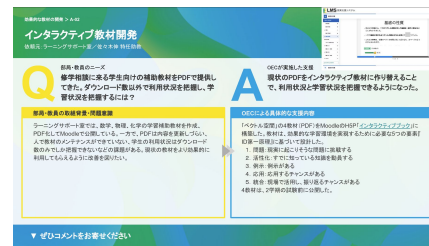
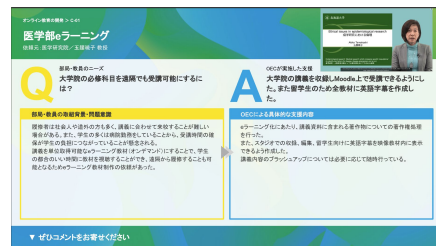
2022年度



oViceでの開催に至った背景

フォーラムのテーマ「デジタル・シームレス大全」

「デジタル・シームレス学習大全」は、最近流行りの『独学大全』から着想を得ました。「大全」(summa)とは、トマス・アキナスの『神学大全』が有名ですが、中世の神学講義における討論を叙述に落とし込み、**問答形式で書かれた注釈書**といえることができるでしょう。今回、我々は「デジタル・シームレス学習」についての大全を編むべく、センターが関わった案件には、どのような問題があり、またその問題を我々がどのような手段で解決したのか、**問いと答え(FAQ)**の形でまとめた展示を実施しました。



フォーラムにて展示したポスター



2022年度



北海道大学

oViceでの開催に至った背景

プログラム

シンポジウム会場

- ウェブ会議機能

13:00 開会挨拶 (事前録画の配信)

13:10 フォーラム趣旨説明・取組紹介 (リアルタイム配信)

13:30 事例紹介:教材設計/映像制作/著作権処理/ハイブリッド型授業/CEED (リアルタイム配信)

相談会会場

- 5ブース同時開催

相談会:上記5つの専門領域のブースを設けた相談会 (双方向参加型イベント)

ポスター展示 (双方向参加型イベント)

ポスター展示会場

- ポスター掲示
- コメント機能

15:00 堀田教授と松王センター長による対談 (事前録画の配信)

質疑応答 (リアルタイム配信)

シンポジウム会場

16:00 閉会挨拶 (リアルタイム配信)

懇親会会場

16:10 オンライン懇親会 (双方向参加型イベント)

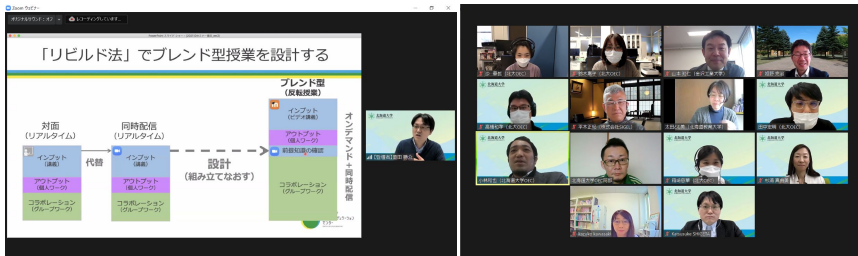


oViceでの開催に至った背景

オンラインのコミュニケーションツール

ウェブ会議システム

- Zoom
- Webex Meet
- Microsoft Teams



ウィンドウ表示

バーチャルオフィスツール オンラインイベントツール

- **oVice**
- Remo
- Remotty



2D空間

ソーシャルVR・メタバース・プラット フォーム

- Mozilla Hubs
- Cluster

Mozilla Hubsウェブサイト 画像
<https://hubs.mozilla.com/>

3D空間

出典: 北海道大学オープンエデュケーションセンターウェブサイト 2021フォーラム開催報告
<https://www.open-ed.hokudai.ac.jp/2022/03/forum20220308/> (アクセス: 2023年4月19日)

oViceでの開催に至った背景

ツールの選択

フォーラムの内容から求められる要件

- フォーラムのテーマ「デジタル・シームレス学習大全」を表現、体感できるオンライン空間
- 事前録画の放映とリアルタイム配信をおこなう、ウェブ会議システムの機能
- 相談会5ブースを同時におこなうスペースを設置できる機能
- ポスター展示をおこなうスペース、コメントを追記できる機能
- 対面のような人の賑わいを感じられる空間
- 3D(奥行き)は不要

フォーラムに使用するツールをoViceに決定した

oViceの基本機能とフォーラムへの適用



oViceの基本機能とフォーラムへの適用

oViceとの契約

- トライアル期間2週間
- スペースサイズと契約期間により価格は変動

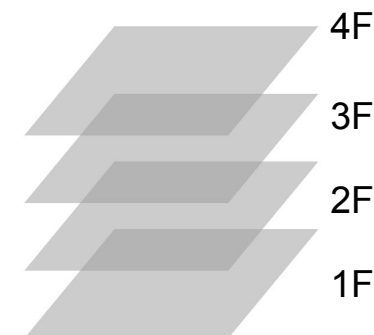
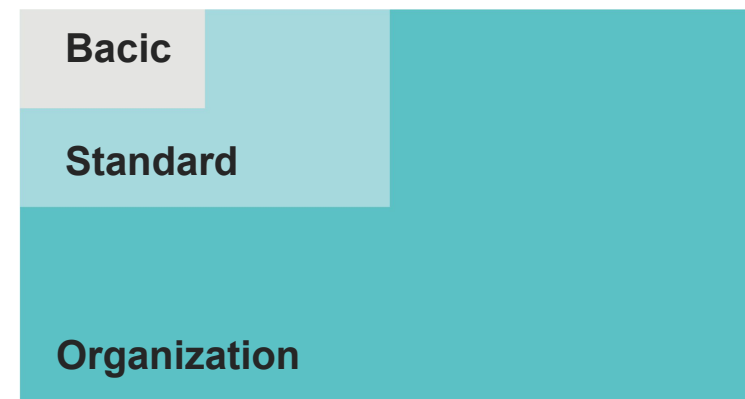
oVice株式会社ウェブサイト画像 <https://www.ovice.com/ja/pricing>
(アクセス: 2023年4月4日)

oViceの基本機能とフォーラムへの適用

oViceとの契約

フォーラム参加者を、50から100名程度と予想し、Standardを選択する予定であった。しかし、oVice担当者との事前打ち合わせで、プログラムの内容から、Organizationのスペースが必要であるとアドバイスを受けた。

- 同じ面積で、縦横比率の変更が可能
- ビルのように階層を作ることも可能
(料金はスペースの広さ×階数)



フォーラムでは、**Organization**スペース(4800×2560px)を使用



oViceの基本機能とフォーラムへの適用

oVice基本機能

入室方法

- oVice会場となるURLを、参加者にお知らせ
- 参加者は、oVice内でアバターに付く「表示名」を入力し、来訪者として入室可能
- 来訪者としての入室は、oViceの登録手続き不要

開催者側でドメイン名(赤字)を変更可能



フォーラムでは、<https://oecforum2022.ovice.in/>



北海道大学

oViceの基本機能とフォーラムへの適用

oVice基本機能

権限と許可

管理者

oViceレイアウトの変更やユーザーの管理、権限に紐づく許可事項の設定などがおこなえる。oViceアカウントの登録が必要。ログインで入室

メンバー

管理者の設定により、権限が認証される。oViceアカウントの登録が必要。ログインで入室

来訪者

oViceスペースに「表示名」を入力し、注意事項を確認しチェックを入れるだけで、スペースに入室できる。oViceアカウントの登録不要。管理者によりスペース内での制限が設けられている。



フォーラムでは、OECスタッフは管理者、参加者は来訪者



oViceの基本機能とフォーラムへの適用

oVice基本機能

アバター



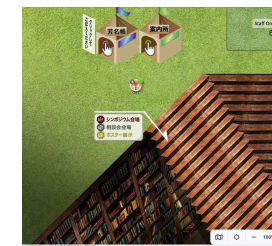
移動方法1 アバターをドラッグして移動



現在地



目的地をダブルクリック



移動完了

移動方法2 ダブルクリックでアバターを引き寄せる

- ① ウィンドウをスクロールし目的地を探す。
- ② 目的地をポインターでダブルクリックすると、アバターが移動する。



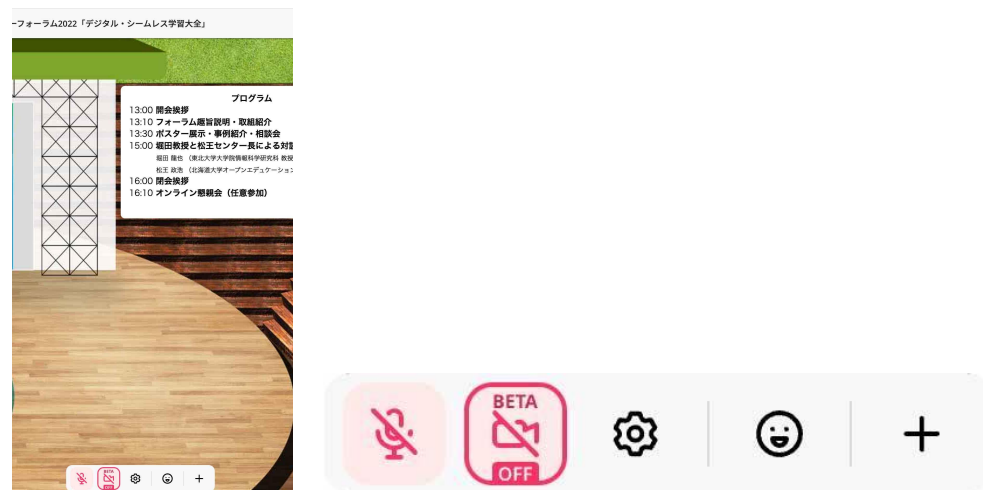
フォーラムでは、スタッフのアバターには右上に緑の丸を付け、名前の前に【OEC】と記入



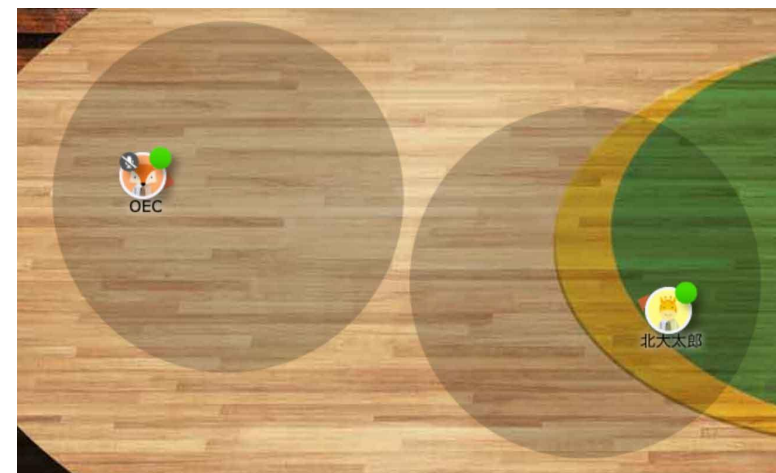
oViceの基本機能とフォーラムへの適用

oVice基本機能

マイク



ブラウザウィンドウの下部(中央)に表示されるメニューの「マイクマーク」をクリックでON/OFF(またはスペースキーを押下)



- 黒い円の範囲に、自分の声が届く
- 円が重なると**会話が可能**



oViceの基本機能とフォーラムへの適用

oVice基本機能

会議室

- 個室環境
- 外のスペースの影響を受けずに会話が可能
- ロックも可能



フォーラムでは、設置したが**未使用**




oViceの基本機能とフォーラムへの適用

oVice基本機能

カメラ



ミーティングマーク  近づきクリックし、アバターと線で繋ぐ。繋がるとカメラONで会話できる。ウェブ会議システムと同様に、資料や画面の共有もできる。



oViceの基本機能とフォーラムへの適用(空間の準備)



oViceの基本機能とフォーラムへの適用

oVice基本機能

バックランドイメージ(背景画)

契約したスペースサイズに合わせた、画像の用意が必要

- テーマに沿った視覚的な表現、雰囲気演出
- プログラムや内容、必要なオブジェクトの数
- 参加者の動線を考えたデザイン

作成方法

- ☐ oViceが用意した中から選ぶ
- ☐ セルフリフォーム、家具やインテリアを外部ツールFigma(フィグマ)を利用してレイアウト
- ☐ 自作



フォーラムでは、自作と一部Figmaを利用

oVice提供例

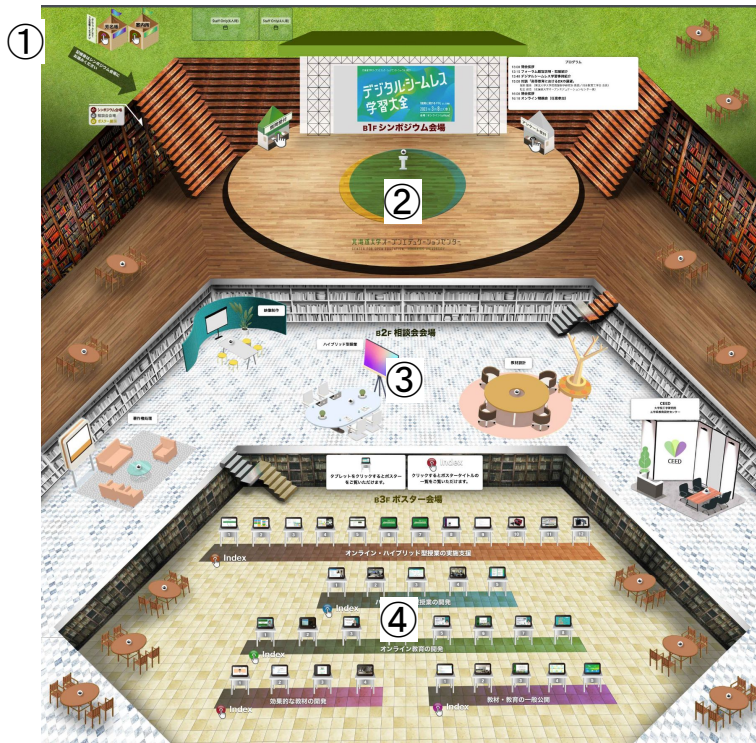
oVice株式会社ウェブサイト
(アクセス: 2023年4月4日)
<https://ja.ovice.wiki/6ddd32b34efc4fc68ef994619ee3eea4>
<https://ja.ovice.wiki/a4b3ee107dce4a2d9c2634355e92c6f6>



oViceの基本機能とフォーラムへの適用

oVice基本機能

バックランドイメージ(背景画)



スクロール

スクロール

入場するとアバターは左上①に現れる

※[https:// oecforum2022.ovice.in/@624,197](https://oecforum2022.ovice.in/@624,197)

座標を指定することもできる



参加者が入場後、最初に目にする、
おおよその範囲



フォーラムでは、プログラムの進行とブラウザのスクロール方向に
合わせて、① 入口「芳名帳」「案内所」② シンポジウム会場、③
相談会会場、④ ポスター会場を設けた。



北海道大学

oViceの基本機能とフォーラムへの適用

oVice基本機能

バックランドイメージ(背景画)



オブジェクトを含めた全景



管理者は、いつでもイメージを変更できる。
変更内容は、来訪者側でブラウザのリロードせずに、自動的に反映される。プログラムに沿ったバックグラウンドイメージの変更が可能。



北海道大学
オープンエデュケーション
センター
CENTER FOR OPEN EDUCATION
HOKKAIDO UNIVERSITY

フォーラムでは、シンポジウムから懇親会への移行時にイメージを変更



北海道大学

oViceの基本機能とフォーラムへの適用

oVice基本機能

用意されたイメージと自作の利点と問題点

oViceが用意したイメージ

利点

- 明度やパースなど、あらかじめoViceに合ったデザイン

問題点

- テーマに合ったイメージがあるか？
- 描かれているオブジェクトと、必要なオブジェクトの数が合うか？

自作やセルフフリーフォーム

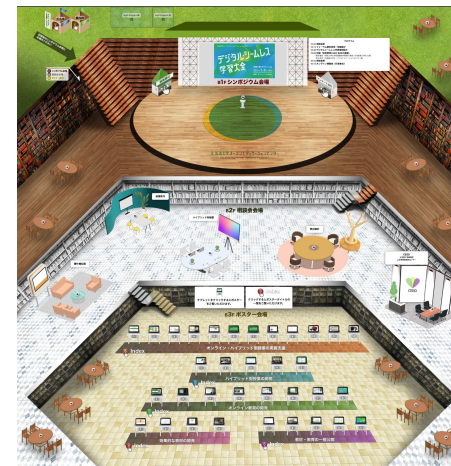
利点

- テーマに沿って自由に制作できる

問題点

- それなりの技術が必要
- 初期作はスペースに難があり、調整した

oVice株式会社ウェブサイト
(アクセス: 2023年4月4日)
<https://ja.ovice.wiki/6ddd32b34efc4fc68ef994619ee3eea4>



oViceの基本機能とフォーラムへの適用

oVice基本機能

スペースオブジェクト



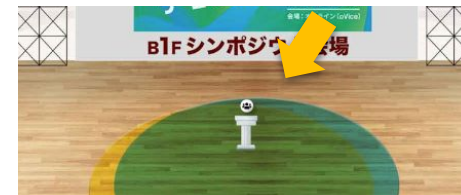
ミーティングオブジェクト

- クリックしアバターと線をつなげ、カメラや資料を共有しながら会話できる
- 影響を受ける範囲の大きさを決めることができる
- アクセス権限の設定が可能、来訪者が自由に作成することも可能



フォーラムでは、

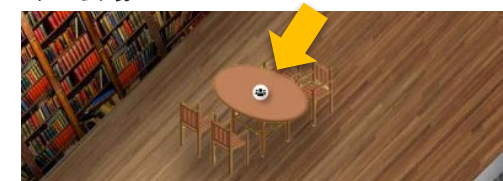
- シンポジウム会場（管理者のみアクセス可能）
- 相談会の各ブース（来訪者もアクセス可能）
- 休憩スペース（来訪者もアクセス可能）



シンポジウム会場



相談会ブース



休憩スペース



oViceの基本機能とフォーラムへの適用

oVice基本機能

外部サービス埋め込み



Iframe



YouTube

- アバターがオブジェクトに近づくと、指定の外部ウェブサイトを自動的に表示する。
- oVice内のウィンドウで表示する。



フォーラムでは、Iframeをポスター展示に利用する方法を検討したが、**使用しなかった。**

- オブジェクトに近づくと自動的にウィンドウが表示され便利ではあるが、操作が煩雑になる。
- 表示のみで、コメントの記入に対応できない。



oViceの基本機能とフォーラムへの適用

oVice基本機能

画像スペースオブジェクト

JPEG、PNG、SVG、GIFなどの画像をオブジェクトとして、oVice空間内に自由な大きさ配置できる。またその画像には、「画像のポップアップ」「リンク」「テキスト」の機能を設定できる。



ポスター会場



シンポジウム会場の「質問受付」「アンケート受付」



入口「芳名帳」「案内所」



フォーラムでは、入口の **芳名帳**、**案内所**、シンポジウム会場の **質問受付**、**アンケート受付**と、**ポスター会場**に配置画像には「**リンク**」機能を付与し、外部ページ Googleフォームや、サイトへリンク

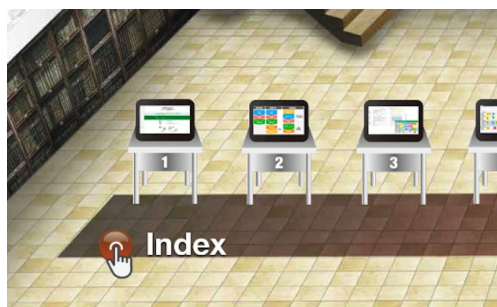


oViceの基本機能とフォーラムへの適用

oVice基本機能

画像スペースオブジェクト

JPEG、PNG、SVG、GIFなどの画像をオブジェクトとして、oVice空間内に自由な大きさ配置できる。またその画像には、「画像のポップアップ」「リンク」「テキスト」の機能を設定できる。



ポスター会場

バックグラウンド上に
配置した画像



タブレット



クリックすると
起こるアクション



「リンク」機能
ブラウザ上の別タブで、ポ
スター(Googleサイト)を表
示



インデックス

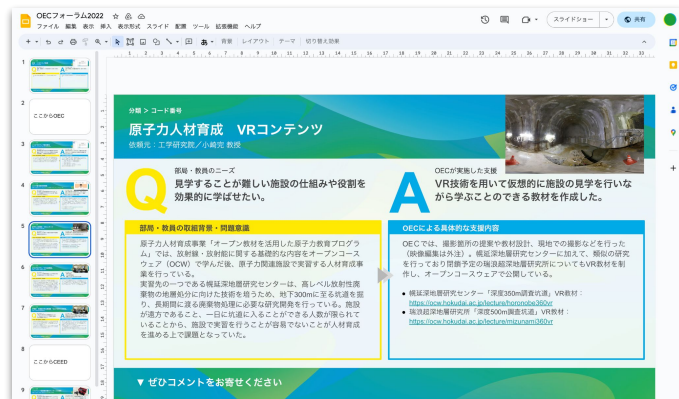


「テキスト」機能
oVice上でポスターのイ
ンデックスを表示



oViceの基本機能とフォーラムへの適用

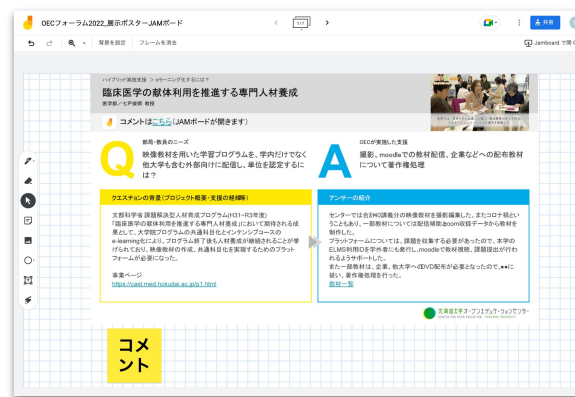
ポスター展示(コメント機能付き)の検討



候補1: Google スライド

問題

- コメントの投稿に、別のアプリケーションが必要
- 参加者に2段階の操作を要求



候補2: Google Jamboard

解決

- 1画面でポスターの表示とコメント機能を設置

問題

- Jamboardから、ポスター内から参考資料などへのリンクが設定できない



決定案: Google サイト

解決

- 候補1のスライドをサイトに埋め込み、参考資料へリンク可能
- 下段に、コメント機能(Googleフォーム)を埋め込み



oViceの基本機能とフォーラムへの適用

ポスター展示の検討

選択肢

1. 全てのポスターをGoogleサイト上で連続して閲覧する機能の設置
2. 個々のポスターへのリンクを設置

考えるべき観点

- oViceというバーチャル空間の特性を活かす
- 賑わいの空間、人がいる気配の演出
- 参加者同士でのコミュニケーションの促進



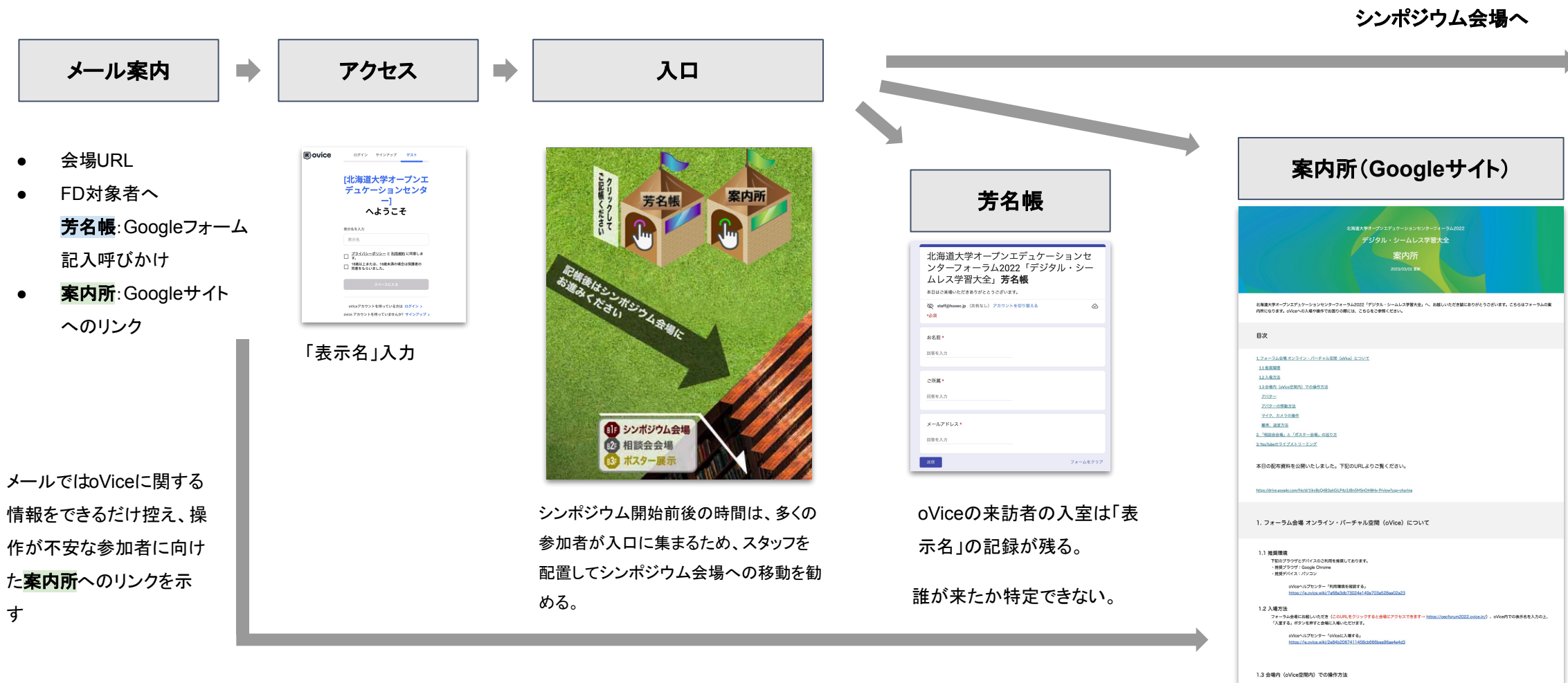
フォーラムでは、34枚それぞれのポスターにリンクするオブジェクトを設置し、空間を活かした



参加者への案内、動線の計画



参加者への案内、動線の計画



北海道大学オープンエデュケーションセンターフォーラム2022

デジタル・シームレス学習大全

案内所

2023/03/02 更新

北海道大学オープンエデュケーションセンターフォーラム2022「デジタル・シームレス学習大全」へ、お越しいただき誠にありがとうございます。こちらはフォーラムの案内所になります。oViceへの入場や操作でお困りの際には、こちらをご参照ください。

目次

1. フォーラム会場 オンライン・バーチャル空間 (oVice) について

1.1 経路図解

1.2 入場方法

1.3 会場内 (oVice空間内) の操作方法

2. ツール

2.1 ツールの使用方法

2.2 ツールメニューの解説

2.3 録画・再生方法

2.4 YouTubeライブストーリーニング

本日の配布資料を公開いたしました。下記のURLよりご覧ください。

<https://drive.google.com/file/d/1ybfvD4tBnGCUjFkq3JlHdQ3MxO4H8Ww/view?usp=sharing>

1. フォーラム会場 オンライン・バーチャル空間 (oVice) について

1.1 経路図解

下記のブラウザとデバイスのご利用を推奨しております。

- 推奨ブラウザ：Google Chrome
- 推奨デバイス：パソコン

oViceヘルプセンター「利用環境を確認する」
<https://ja.ovice.world/?p=help&id=72024e1456c4703ac28ba92ae43>

1.2 入場方法

フォーラム会場にお越しいただき [このURLをクリックすると会場にアクセスできます→ https://securum/2022/ovice.html](#)

oViceでの表示をを入力の上、
入室する。ログインを要せずに参加し観覧ができます。
<https://ja.ovice.world/?p=help&id=72027411456c4703ac28ba92ae43>

- 推奨環境設定(PC、Google Chrome)
- 入場方法の詳細
- oViceの基本機能の操作方法

- フォーラム会場の案内
- 相談会参加方法
- ポスター展示の閲覧操作方法

- ナビゲーターが、フォーラム会場を巡る様子を、YouTubeのライブストリーミングで配信

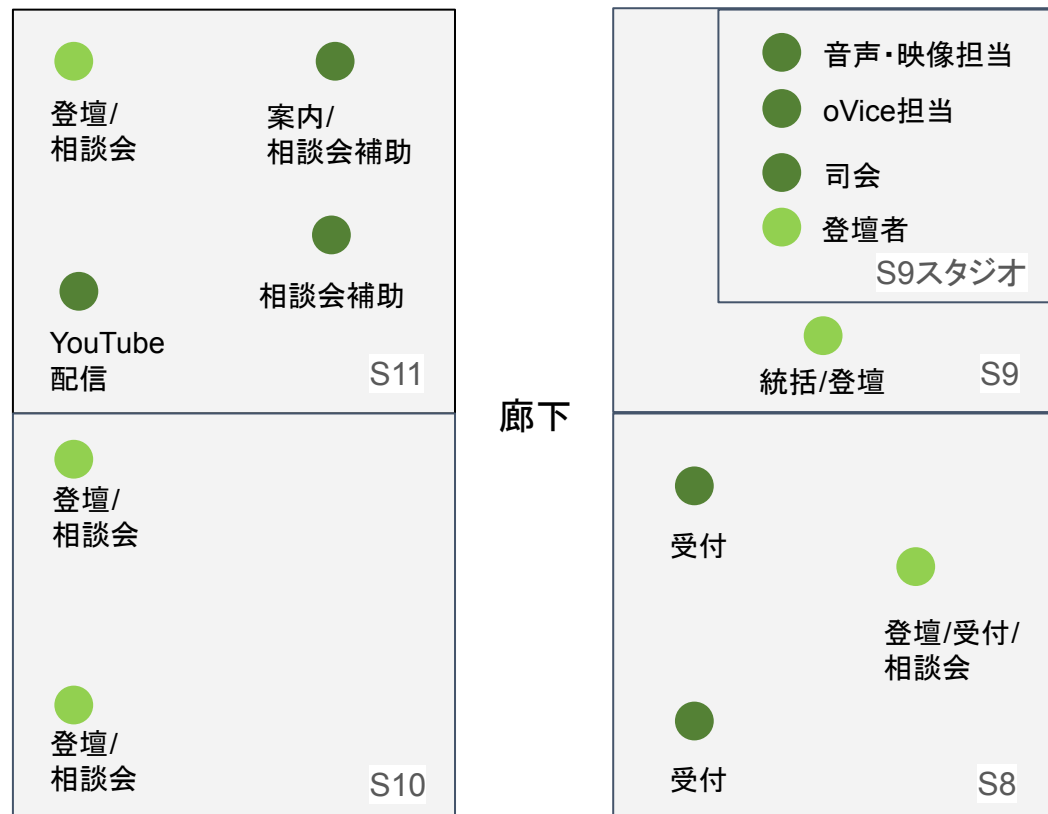


- 操作現場の準備
- 配信コンテンツの準備
- 開催までの過程
- 小規模イベント



操作現場の準備

人員の配置



- S9スタジオをシンポジウム会場に見立てる
「趣旨説明・取組紹介」「事例紹介」の登壇時は、S9スタジオへ、相談会は自席に戻る
 - 音声のレベルを統一する為
 - 事前撮影映像の配信とリアルタイム配信の集中管理
- S8、10、11の教室を、受付・相談会各ブース・YouTube配信として空間を確保
 - 音声の混線を防ぐ



配信コンテンツの準備

対談映像

事前撮影

登壇者映像 (Zoomミーティング)

北大
(S9スタジオ) ▶



◀ 東北大学

▲ 北大 (N103)

背景映像 (北大 遠友学舎)



カメラ ① ▶



◀ カメラ ②

合成

切り出し・加工

配信映像



合成



カメラ ②



カメラ ②



カメラ ①



北海道大学

開催までの過程

2月 3日	oVice トライアル開始 (2週間)	oViceの機能確認
6日	oViceとの面談	フォーラムの内容を伝え、Organizationスペースが必要との指摘
14日	スペースサイズ変更	背景画像作成、シンポ会場、相談会ブース、ポスター設置の試行
18日	oVice 本契約開始	
24日	全体リハーサル 1 回目	オブジェクトデザインの問題、音声の問題、操作案内の問題
27日	oViceとの面談	リハーサルでの問題を相談、入口での誘導方法、操作案内の指導
3月 6日	全体リハーサル 2 回目	oViceスペース内での動き確認、操作現場の整理、アンケート受付設置
8日	フォーラム開催日	



全体リハーサルを2回 おこない改善点を検討した。

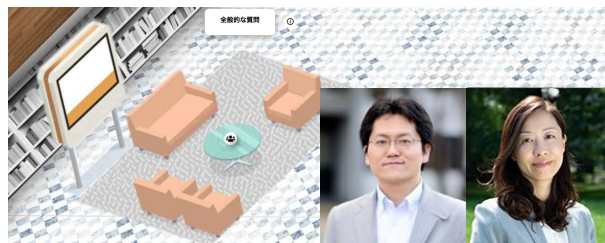


フォーラム(oVice)空間の体験



oVice 体験

● 相談会会場



全般的な質問

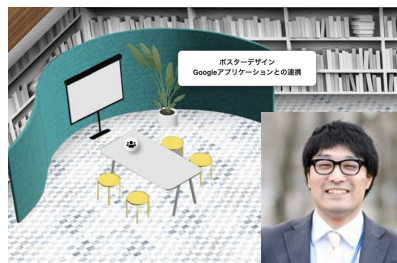
重田勝介(部門長／教授)

杉浦真由美(副部門長／准教授)



進行・スケジュール管理運営

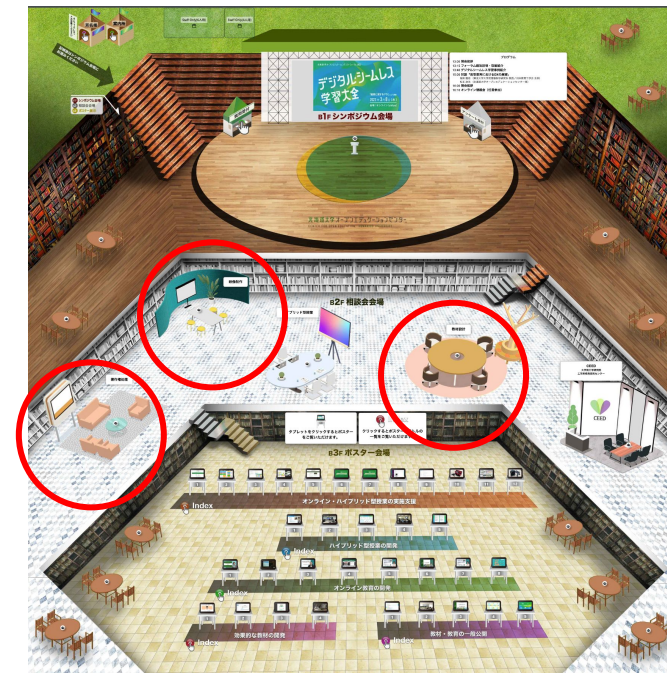
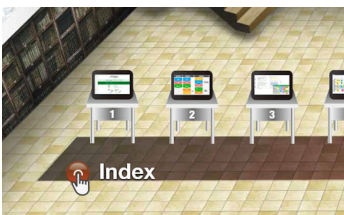
小林和也(博士研究員)



ポスターデザイン Googleアプリケーションとの連携

田中宏明(博士研究員)

● ポスター会場



ご案内: YouTubeチャンネル開設



北海道大学オープンエデュケーションセンター
@huoec チャンネル登録者数 7人 6本の動画

北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンターは、情... >

チャンネル登録

ホーム 動画 ライブ 再生リスト コミュニティ チャンネル 概要

課題をつくる際には「成果物の例」も作成する 24:47

SDG4 and Open Education 17:24

学習を促すフィードバック 21:28

Moodleコースの作り方 (1コマでブレンド型授業) 18:18



ご案内: Slack・Twitter・メーリングリスト



お〜い知っ...
999_雑談

事前にJamを作成し...
れまでの思い出の、11月1日...
したり...送別会の最中に盛り...
書き込むといったかたちで、...
が更新されていました。最終...
ページづつ見ていくので、...
感じて、渡して終わりではなく、...
でき、贈った側もとても楽しかったです。
あらゆるものがデジタル化し、ついていくのが大変な時もあり...
ますが、やってみると意外と面白かったり、結構いいね！
と思うものもたくさんあるのだと思いました。
改めて末永さん！3年8か月の間OECを支えてくださりありが...
うございました。（編集済み）

iOS の画像

永さんへ

第9回 OECのお〜い知ってる？オンライン教育

999_雑談 にメッセージを送信する



北海道大学オープンエデュケーションセンター
27 件のツイート

北海道大学
オープン
エデュケーション
センター
CENTER FOR OPEN EDUCATION
HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学オープンエデュケーションセンター
@OEC_Hokudai
北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンターの公式アカウント
です。Center for Open Education, Hokkaido University.
◎ Sapporo, Japan ◎ open-ed.hokudai.ac.jp
2020年9月からTwitterを利用しています
11 フォロー中 74 フォロワー

ツイート ツイートと返信 メディア いいね

北海道大学オープンエデュケーションセンター @OEC_Hokudai · 2分
【開催報告】
更新が遅くなりましたが、先週のお〜い知ってる？の動画をアップしまし...
た！
「第9回：学生の評価を行う」 kultura.com/index.php/extw...?

第9回 OECのお〜い知ってる？オンライン教育
_20201126
◎ kultura.com



<https://forms.gle/XtwxTu3UwzGG3t6V8>

OECからの最新情報をお
伝えます